



YUME いっぱい

よく考える子 しんせつな子 きたえる子

佐世保市立吉井北小学校
学校通信 13号
R02.09.04 (金)
文責 校長 堤 祐子



台風9号の対応、ありがとうございました！

2日～3日未明にかけて吹き荒れた台風9号でした。ご自宅等は大丈夫でしたか？学校は幸いにも大きな被害はありませんでした。ただ、朝から通学路のあちこちで倒木のために通行が難しい場所があり、学校でも対応を苦慮していたところ、6年生の城さん、松永さんの保護者の方が木を切って子どもたちが通行できるようにしてくださいました。また、PTA 本部役員の西田さん、田代さんには通学路の様子を見ていただき、登校に付き添っていただきました。他にも、各地区長の皆様には朝早くから通学路の見回りをしていただきました。ここで把握できていなくても、多くの方々にご尽力いただいたものと思います。皆様方のおかげで子どもたちも無事全員が登校することができました。心よりお礼申し上げます。

学校も折れた木々や葉っぱが辺り一面に散乱している状況で、一部使えないところもありました。すると、朝から登校した子どもたちが次々に来て、片付けや掃除を手伝ってくれました。昼休みには6年生全員できれいにしてくれました。こんな時にこそ心が育ちますね！素晴らしい北小の子どもたちです。

6日（日）から7日（月）にかけて接近する台風10号の影響がとても気になるところです。様子を見ながら、学校の対応についてはまたお便りもしくは安全メールで配信いたします。子どもの安全が第一ですので、登下校に危険が伴うようでしたら、無理をなさらないようお願いいたします。各ご家庭でも台風への備えを十分に

していただくとともに、お子様と防災について話し合い、家族の約束事を決めたり、避難の方法を確認したりしてください。



来週は「学校開放週間」9/7（月）～11（金）

【8日（火）授業参観 14:00～・学級懇談会 15:00～】

今回は全学年、道徳授業を行います。子どもの道徳授業とってみても、大人の心を打つことも少なくありません。お子様と一緒に命について改めて考える時間にしてみてください。

学級懇談会も行います。5年生は宿泊学習、6年生は修学旅行の説明会になりますので、できる限りご参加ください。

【8日（火）学校保健委員会 16:00～】

学校医の松瀬先生、学校歯科医の法師山先生をお迎えし、本校の保健についての話し合いをします。本校の保健上の実態をお知らせし、子どもたちの健康を守るための今年度の計画について話し合います。

PTA 保健体育部の皆様は、ご参加よろしく願いいたします。

【11日（金）学校支援会議 14:00～参観、14:15～会議】

日頃より学校を支えていただいている地区長・民生委員・児童委員・ボランティア・PTA 役員の方々をお招きして、子どもたちを支援するための会議をします。

※ 学校開放週間中は自由に参観できます。また、夏休み作品展も開催しています。この機会にどうぞご来校ください。

NEW FACE

ICT 支援員 かわくぼしょうた 川久保 翔太 さん

学校で ICT を使った学びを支援するため、週 1 回木曜日の勤務です。8 月末より、学校に職員用のタブレットが配当され、今年度中には子どもたち一人ひとり全員にタブレットが与えられます。川久保先生に教えていただきながら、学んでいきます。



校長室の窓から⑤ 【わが子のゲーム・メディアとの関係は？】

前期後半が始まり、今週から全児童を対象に個別面談を行っています。その中で気になる情報もありました。ある保護者の方からご相談を受けたのですが、オンラインゲームをしている子どもたちがいることはご存知でしょうか？オンラインゲーム自体が悪いわけではありませんが、いくつかの問題点も考えられますので、各家庭で振り返ってみてください

① 友人とつながっている場合・友人以外とつながっている場合

本校でも友達どうしでつながって対戦している事案が見られます。友達同士では人間関係に気を遣って、したくなかったり、家庭の用事があつたりしても相手に合わせてしまうことがあるでしょう。また、見知らぬ人とつながると、下手をすれば個人情報が出たり、犯罪に巻き込まれたりする危険性もあります。

② ゲーム内の課金は？

ゲームは課金されたグッズを手に入れると強くなるので、子どもによっては課金されていることをきちんと把握しないままグッズを購入してしまうことも考えられるでしょう。知らないうちにたくさんお金を使っていることも考えられます。

③ 睡眠時間は大丈夫？

ゲームは、長時間すればするほど強くなります。ですので、ついやめられなくて続けてしまい、睡眠時間が確保できないこともあるかもしれません。睡眠が十分にとれないと、学習に集中できなくなり、学校生活に支障をきたします。また、イライラして怒りっぽくなり、トラブルのもとになることもあります。

④ 発達段階の脳に与える影響

小学生のゲーム等メディアとの接触で一番怖いのが、発達途上の子どもたちの脳に与える影響です。以前、(本校ではありませんが) お子様が親のスマホを勝手に触ったり、ゲームのインターネット機能を使ったりして残酷な描写のサイトをしょっちゅう閲覧しているという相談を受けたこともありました。発達段階の脳はあまり刺激を受けすぎると現実と仮想世界が混乱して、とんでもない行動に結びつくことがあります。

では、どうすればよいのでしょうか？

① 真実を知る

まずは子どもの実態に目を背けず、真実を知ることです。わが子のゲームとの付き合い方は、本当にちゃんと家庭のルールを守ることができているのか。「(例えば約束時間等で) 止めなさい」と声をかけて止められるようでしたら、まだ依存ではありません。しかし、すぐに止められずイライラしたり怒ったりする様子があると、すでに依存の傾向です。こうなったら、専門家に相談して治療をする必要があります。

② 友達同士ルールを共有する

「ルールを決めているのに、聞いてくれない。」とはよく聞く話です。しかし、子どもは親の監督下にあるのですから、家庭のルールを守るのは当たり前。そこは徹底していかないとずるずるとなるでしょう。また、友達(の親同士)ルールを共有するのも一つの手です。うちも〇〇ちゃん家も〇時になったらゲームができない、となれば前述のオンラインゲームも比較的ストップしやすいでしょう。来週学級懇談もありますから、話題にしてもよいですね。

今年度はコロナの影響で、今のところメディア講習会の計画は組んでいません。しかし、親と学校が連携して情報を共有し、子どもの健全な発達や学びを応援していきたいものです。

ご家庭で「こんなことしたら効果があったよ」ということがありましたら、ぜひお知らせください。悩んでいるのは、我が家ばかりではありませんよ。きっと。

